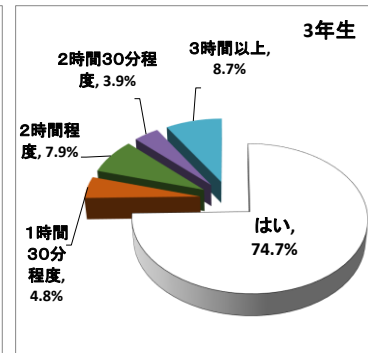
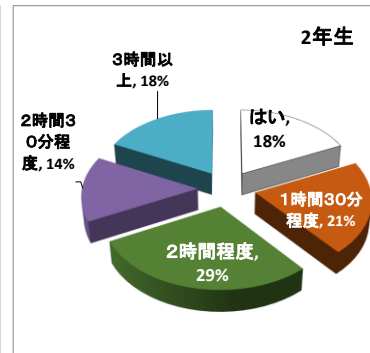
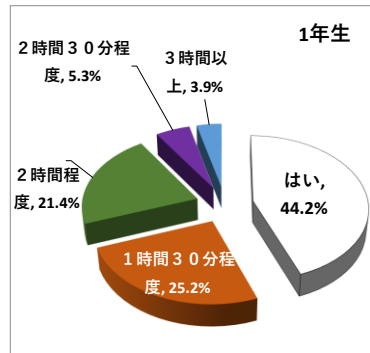


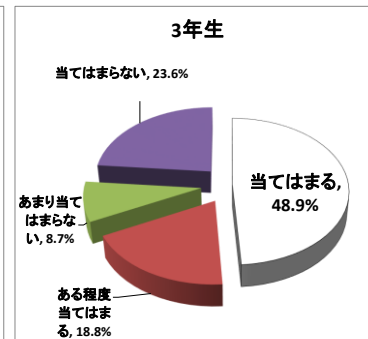
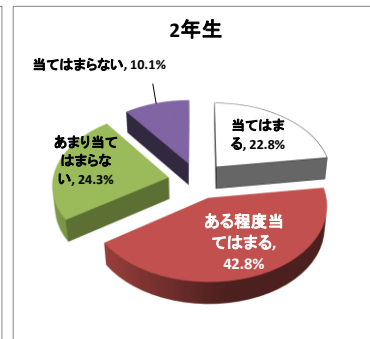
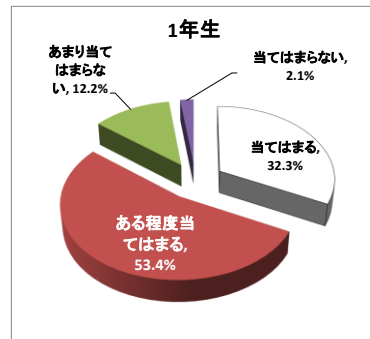
令和5年度 夏季休業期間中の課題・宿題に関する調査 令和5年9月調査

質問1 夏季休業中の課題・宿題の量は1日1時間計40時間で終わられる量でしたか。



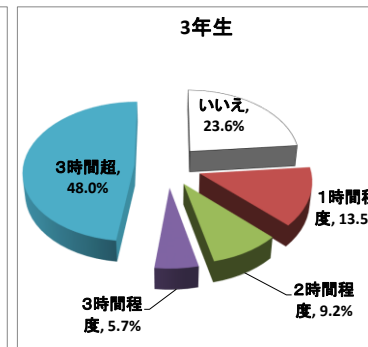
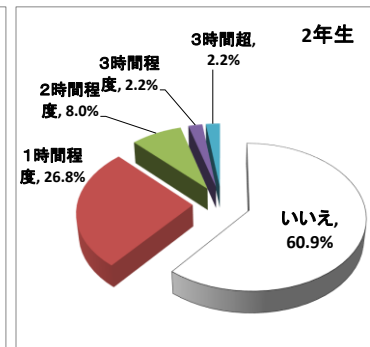
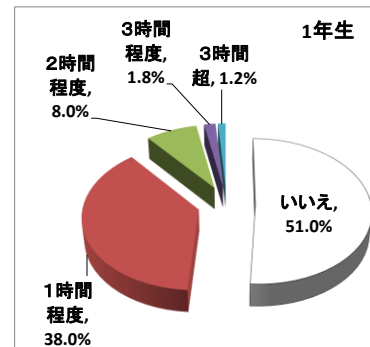
3年生:概ね適切な量であったと言える一方、3時間以上が1割弱おり、さらなる分析が必要  
 2年生:想定どおりであったのはわずかに2割弱、3時間以上と同割合であるなど、都民の声があったにもかかわらず歩々しい改善がない  
 1年生:半数弱は想定どおりであったが、1時間30分程度が4分の1、2時間程度も2割強おり、課題が残った

質問2 夏季休業中の課題・宿題は休業明けの実力テストに役立ちましたか。



全学年とも「当てはまる」「ある程度当てはまる」を合わせると、4分の3程度が役立ったと感じていることが分かる  
 一方、「当てはまらない」とする3年生が4分の1弱おり、さらなる分析が必要  
 2年生は全体の8割が想定時間内に終わらない課題・宿題に取り組んだにもかかわらず、35%程度が実力テストへの有益度に否定的な回答しており、課題が残った

質問3 自主学習の時間は増えましたか。



3年生の半数近くが、自学自習時間が3時間超伸びたと回答しており、最高学年としての意識の高さが裏付けられた  
 一方、1、2年生は、半数以上が「いいえ」と回答、ただ、2年生では1時間程度の増加が4分の1程度、1年生では1時間程度の増加が4割弱いるなど、課題・宿題量を公表することで、若干の効果があったと考えられる